

生活困窮から自立に 向かう一歩を 共に歩む

～農福連携の現場から～

生産物を「食べながら」「おみやげに持ち帰る」。
耳だけではなく味覚で感じる研修です！

マフィンとコーヒー、乾燥フルーツを食べながら気軽に参加してください 《←参加料金に含まれています》

公益社団法人
新潟県社会福祉士会
生活・更生保護・児童家
庭支援班研修

〈今年度の活動目標〉

貧困をテーマとして、多角的
にその支援の方法を知る。

支援の現場を知るために聞く
だけではなく、現場に出ていく
研修も企画する。

4人の農福連携実践者からそれぞれの取り組みをうかがい、「農業」や「食」を通して
生活困窮から自立に向かう可能性や将来展望をお聞きます。制度に則った支援やイ
ンフォーマルな支援も含め、幅広い支援があることを知ってください。

日時：2019年7月20日（土）13:30～16:45

場所：新潟市総合福祉会館 4階401会議室

新潟市中央区八千代1-3-1 ☎025-248-7161

会場に駐車場はございません。公共交通機関でお越しになるか、近隣の
民間駐車場（有料）をご利用ください。

参加費：1,500円（学生は500円※当会の「会員予備軍」の学生は無料）

※参加費には生産物の試食、お土産を含む

〔有料販売もございます。数に限りがありますのであらかじめご了承ください〕

定員：100名 ※受講決定通知はお出しません。定員の都合で受講をお断りする場合のみご連絡します。

対象者：社会福祉士会会員、学生、その他興味・関心がある方

【当日のスケジュール】

13:00	受付
13:30	第一部「なぜいま農業×福祉なのか？ ～UNEの理念・取り組みから～」
14:30	休憩
14:45	第二部《おやつを食べながら》ゲスト3名より実践報告
16:00	ワークショップ（小グループで実践者を交えて意見交換）
16:45	終了



**申込締切
7月8日（月）**

魅力あふれる実践者たち

01 UNE 家老 洋

全ての人が人間らしく、誇りを持って一生安心して暮らせる“ユニバーサル社会”を農園芸作業を通じて構築する理念を掲げ日々汗を流す。地域活動支援センターも運営し、障害ある方の自立に力をいれている。

当日はくろもじ茶を販売

*くろもじとは…千利休が客人に振る舞うお菓子を頂く楊枝として使用。心地よい香り、また整腸作用のある薬用樹として珍重されてきた。



02 marugo-to 岩崎 典子

西蒲区で独立型ケアマネージャーとして働きながらビニールハウスの居場所「marugo-to」の代表も務める。農業を通じて人と人とのかかわりを大切に「困っている人はほっておけないんです！」と、何事にも一生懸命！！

当日は ひのきの防虫・防臭ブロック「marugo-toブロック」と畑で収穫した新鮮夏野菜を販売予定



03 シーズキッチン・rucoto 佐藤 千裕

新潟で大切に栽培された農産物のハネモノ（＝規格外品）を無駄にすることなく様々な社会問題の解決につなげたい。農・福・食連携「おいしい循環」プロジェクト『rucoto(ルコト)』を昨年よりスタート。

当日はrucotoの仕組みで作られた焼き菓子やジャムなどを販売。

第二部の実践報告の時間は気軽に焼き菓子なども食べながらご参加ください



04 自立支援ネットにいがた 寺尾 知香子

住まいがないために生活に困っている人たちの自立を応援する団体の代表。コミュニケーションの向上を自立への課題ととらえ、人と人のかかわりを大事にしている。乾燥野菜やドライフルーツの加工を通じて、彼らの自立への活路を拓く！

当日はカレーや豚汁に使えるドライベジタブル、越後姫のドライフルーツを販売



申し込み先⇒新潟県社会福祉士会 事務局 **FAX025-281-5504**

生活・更生保護・児童家庭支援班研修会「生活困窮から自立に向かう一歩を共に歩む」

参加申込書

申込日 年 月 日 締め切り 7月 8 日 (月)

参加区分	☐ 社会福祉士会会員（会員番号： ）	
	☐ 学生（2019年度会員予備軍 ☐ 登録している ☐ 未登録 ）	
	☐ その他	
所属(勤務先)/氏名	所属	氏名
連絡先	電話	
	メール	
入会促進(紹介)キャンペーンクーポン利用（※クーポンをお持ちの方対象）	クーポン№	
	利用合計額	円分

「貧困からの脱却」をテーマに掲げて研修を展開してきた生活支援班。今年度も継続し、楽しく参加できる研修を企画していきます。

秋（9～10月頃）には、農福連携の実際の現場に赴き、農作物をふんだんに使ったお昼ご飯を食べる「現場を見に行く」楽しい研修も企画中心！次回もご期待ください